

安全指導だより 1月号

令和8年1月9日（金）
西東京市立田無第四中学校
生活指導部 安全指導係

< 交通安全 >

～歩行者の飛び出し・出会い頭衝突に注意しよう～

冬休みが終わり、3学期が始まりました。12月の安全指導だよりでも記載したように令和8年4月1日より、自転車の交通違反に「交通反則通告制度（青切符）」が導入されます。日頃から自転車の交通ルールに注意して走行しているとは思いますが、詳しい事例をもとにさらに確認していきたいと思います。

教育庁指導部指導企画課の報告によると交通事故報告件数は減少している一方で、歩行者と衝突する事故は増加しています。特に、被害リスクが高いとされる「幼児・児童」及び「高齢者」との事故件数は、前年度同期間と比較して1.25倍に増加しています。歩行者との事故が発生しやすい場面として、以下の事例があげられます。

～歩行者との事故報告が多かった事例～



▶ 道路に面した住宅等からの飛び出し



▶ 見通しの悪い路地



▶ 信号のない交差点等での横断

事例のような歩行者との事故を未然に防ぐためには、交通ルールを守るとともに、皆さん一人一人の「危険を予測し回避する能力」を高めていく必要があります。「曲がり角から歩行者が飛び出してくるかもしれない」「歩いている歩行者が道路を横断してくるかもしれない」など「危険予測・危険回避」の意識を常にもちながら生活を送ってほしいと思います。

< 空気乾燥による火災に注意しよう～ >

冬場になると空気が乾燥したり暖房器具を使用したりする関係で、火災の事故が多くなります。令和7年度の1月～6月に東京消防庁管内で起きた住宅火災の件数は997件です。昨年から、100件近く増え、最近5年間では最多を記録しています。出火原因の上位は、「放火、たばこ、ガステーブル等」です。また、みなさんの住む街の西東京消防署の管内では令和7年に起きた火災件数は、47件です。（10月31日時点）毎日のように、乾燥注意報が発表され、火の取り扱いには細心の注意が必要になります。適切に管理・使用をすることが火災予防に繋がります。



東京消防庁

